

わたしたちの*SDGs*

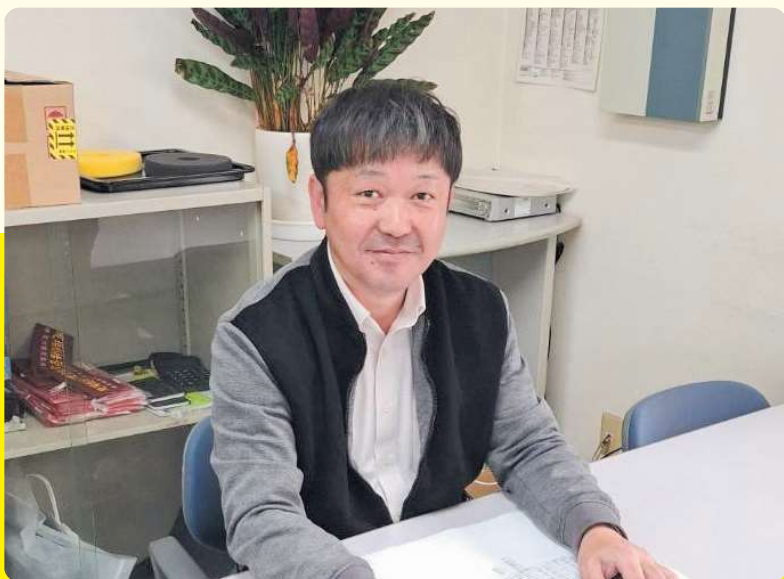
SDGsもすっかり浸透し、独自の達成目標を掲げる企業も増えてきました。ここではそんな企業にお話を伺い、より多様な試みのヒントとして紹介します。

our GOALS



株式会社 環境科学

- 本社……鹿児島市花尾町904番地1
TEL:099-245-6111
- 事業……一般廃棄物・産業廃棄物処理業
一般廃棄物・産業廃棄物の中間処理
土木資材の製造販売
- 公式サイト…<http://www.kankyokagaku.co.jp>
- 代表取締役……川路 秋博 様



Q1. 会社の事業内容を教えてください。

当社は事業所から出る一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を行っています。一般廃棄物については鹿児島市内一円、産業廃棄物については鹿児島県内全域の事業者を対象としており、現在およそ4,000先を担当しています。

一般廃棄物処理施設として認可されている小山田工場(リサイクルセンター)では主にRPF(固形燃料)の製造や木くずの破碎処理を行い、さつま工場では主にペットボトル粉碎や発泡スチロールの減容処理を含む多様な廃棄物の再生処理を行っています。



Q2. SDGsの達成に向けた取組を教えてください。

収集した廃棄物を手作業で丁寧に選別し、今まで焼却・埋立処分されていたリサイクルが困難な紙ごみやプラスチックごみをRPFとして製造しているほか、建築現場などで不要となった木材や資材をチップ化し、バイオマス燃料として製造しています。RPFは化石燃料に匹敵する発熱量で価格も安くCO2の排出量も少ないことから、化石燃料に代わる新しいエネルギー源として製紙会社へ販売しています。また、バイオマス燃料は発電所へ販売しているほか、自社でRPFを製造する際にも使用しており、化石燃料削減に加え、CO2削減等温暖化防止に寄与しています。

関連会社では伐採事業者等からの依頼を受け植林も行っています。現在までに2万本超の植林を行っており、自然環境を守り生き物が住みやすい環境づくりに取り組んでいます。

今後も地域のお客様から信頼され、選ばれ続ける会社を目指してグループ全体を通して法律・条例を遵守し、環境を守る循環型社会に貢献していきたいと思っています。



▲RPF固形燃料



▲木くず破碎機



▲バイオマス燃料



▲植林の様子